

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	末寄 雅美	職名	教授	学位	修士 (教育学) (九州大学大学院 1998 年)
----	-------	----	----	----	---------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
保育者養成教育	実習指導、環境遊び、体験学習など

研 究 課 題
① 2 年間の保育者養成における体験的な学びを通した保育観・子ども観の育成ー環境遊びを中心として ② 保育者養成教育における実習での保育の記録のあり方 ③ 現場保育者向けの生活体験プログラムの構築 (フィールドワーク) ④ 遊び技術を向上する保育士の研修のあり方

担 当 授 業 科 目
教育実習指導 (通年) こども学基礎演習 (通年) 保育原理 (前期) 教育原理(前期) 生活の中の環境学 (前期) (開講せず) 保育・教育実践演習 (後期) 保育メディア演習 (後期) 保育内容「環境」 (後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【保育原理】 保育に関わる基礎的な概念や子ども理解のベースとなる授業内容のため、学生にとって出来るだけ分かりやすく、かつ基本的事項を確実に身につけられるような工夫として、テーマ別のノートプリントを作成し、それをもとに授業を進行した。遠隔授業となったため、学生の学習ペースに十分配慮しながら授業進行を行った。オンラインでの小テストを数回行ったことで、より理解を深めることができた。
授業科目名【教育原理】 保育をとりまく状況についてできるだけ新しい情報に基づいたものとなるよう、また学生が「教育」に対し日常的に興味関心を深められるような授業内容となるよう改善を行った。遠隔授業となったため、学生の学習ペースが保てるようノートプリント形式のプリントを配布し、要点をまとめやすくした。オンラインでの小テストを数回行ったことで、より理解を深めることができた。
授業科目名【保育内容「環境」】 授業前半では屋外での体験学習を中心に授業を組み立てた。特に、自然や生活環境への関心が高まるよう工夫した。幼稚園教育要領、保育所保育指針に記載されている「環境」のねらいと内容が十分に理解できるように授業を進行した。一部遠隔授業となったが、授業への参加意識を高めるよう配慮した。 また、地域環境と保育活動について、ゲストティーチャー (到津の森公園、獣医師) を招き、園外保育の引率を想定した話をして頂いた。学生の関心は非常に高かった。

授業科目名【保育メディア演習】 授業の前半では、メディア環境をテーマにディベート形式での授業を行い、自身のメディア接触を元に、保育や子育て環境におけるメディアとの付き合い方について実体験から振り返る機会とした。また、「認定絵本士養成指定講座」に関わる3コマの授業では、外部講師と連携しながら授業を行い、絵本や情報社会との関連について、より学生の理解が深まったと思われる。特に、大学図書館職員からの授業では、絵本検索を通じて絵本の関心を深める非常に良い機会となった。
授業科目名【教育実習指導】 「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と段階的に行われる実習に対し、学生がそれぞれ課題意識を持ちながら臨めるような指導を行った。 実習事後指導では一人一人の学生に対し面談を行い、また丁寧な日誌指導を行った。実習報告会は対面で実施し、学生自身が自分の学びを客観的に振り返って後輩にプレゼンテーションする場を設けたりと主体的な学びになる工夫を行った。特に「教材研究」として、一年次には手遊び、二年進級時にはペープサートなどの教材作成と実演、二年後期では現場で継続的に使用できる教材の作成と実演を行った。
授業科目名【教職実践演習】 現場での保育実践を見越したアクティブ・ラーニングの授業を行った。学生の主体的な学びとなる「模擬保育」では、クラス毎に二人一組で指導案作成と模擬保育の進行を行い、他の学生は子ども役・観察者となり実践後には意見交換を行う内容で、学生個々人の学びと実習経験が生きる授業となった。「実践に学ぶ」では、保育の実践記録を読み合い意見交換を行った。卒後1年目の卒業生を招いた授業では、現場での実践を想定しながら学生が話を聞いていた。いずれも、学生が授業への参加意識が高まるような工夫を行っている。
授業科目名【こども学基礎演習】 科目の主担当者として全体計画を作成した。ゼミ毎での活動を軸として、学生が話しやすい雰囲気作りや学習成果を実感できる活動への取り組みなど様々な工夫を行った。「認定絵本士」養成指定講座は複数回実施したが、特に外部講師を招いた授業では対面授業を実施し、認定絵本士としての実践力を高められるよう工夫と努力を行った。 個別に担当したゼミ活動では、前期オンライン授業期間はそれぞれ自宅で行える活動を工夫しながら行った。対面授業が可能になった後期は、運動遊びや言葉遊び、美術館訪問など学生がやりたい活動を決めて主体的に実施できるよう支援的な役割で関わった。
授業科目名【こども学特別演習】 2年次のゼミ活動の科目のため、特に対面授業が可能な時期には体験的な学習をできるだけ行えるよう工夫した。「作る」ことが好きな学生が多かったため、科学遊びの一環でバスボムや染め物ハンカチ、ポップアップカードなどを作成したり、自然に親しむ工作なども行った。動物園での学外授業も実施した。 遠隔授業では、学生同士の懇親を深め、意見のやり取りがしやすいよう工夫と配慮をおこなった。科学への関心を深めるために自分の家庭でできる身近な科学遊びやレクリエーションなどを実施した。
授業科目名【生活の中の環境学】 受講者が居なかったため、21年度は開講せず。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会	理事（2004-2010年、2018年・） 事務局幹事（1996-1998年）	2013年5月～ 現在に至る
日本保育者養成教育学会		2017年3月～ 現在に至る
日本社会教育学会		1996年4月～ 現在に至る
日本生活体験学習学会		1998年10月～ 現在に至る
九州教育学会		1996年4月～ 現在に至る

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 1. 保育者養成校における保育者としての資質に関する調査～変数間の関連性の分析～	共著	令和3年4月	西南女学院大学紀要 25巻	保育者養成課程の学生（短期大学）を対象に行った2ヶ年調査の結果分析。保育者として求められる資質が2年間の間にどのように変容しながら育成されるのか、また資質の要素がどのように相関をもつのか、無記名アンケートより明らかにした。対人スキルや共感性や援助規範意識は子ども中心の保育観育成に影響することが分かった。
(翻訳)				
(学会発表) 1. 保育者養成における実習日誌に関する考察～保育職と他福祉系対人援助専門職との比較から	共著	令和3年5月	日本保育学会第74回大会（ポスター発表）	保育実習等で経験の振り返り学習に用いられる実習日誌について、学生の学びがより深められる日誌様式や指導のあり方についての研究の第一報となる。まずは既存の実習日誌の様式の課題を明らかにするために、対人援助専門職養成課程で使用されている実習記録と比較を行い、保育ならではの記録の役割や学習成果を見だし、対象理解と共にクラスなど集団や一日の流れなど保育全体への理解が求められることを明らかにした。 阿南寿美子・脇信明・古林ゆり・金子幸・上原真幸・島田知和・ <u>末寄雅美</u> ・藤本朋美
2. 保育者を対象とした生活体験プログラムについてー生活体験学校を活用した保育活動の充実をめざしてー	共著	令和3年9月	日本生活体験学習学会第23回大会（自由研究、口頭発表）	福岡県飯塚市庄内生活体験学校における野外活動プログラムの実践研究の発表である。飯塚市内の保育者を対象に、畑作りや芋掘り、苗木づくり、蜂蜜採取などのプログラムを実践することで、ゆくゆくは庄内生活体験学校を活用する保育活動や職員研修のプログラムを構築することを目的としている。20年度から実施したプログラムの中間報告となる。 <u>末寄雅美</u> ・桑原広治・宮嶋晴子。正平辰男

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（１） 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
八女市子ども子育て会議	委員、会長	2016年9月～現在に至る（2024年9月迄）
柳川市保育協会保育士会研修部会	助言講師	2006年4月～現在に至る
福岡県保育士等キャリアアップ研修	幼児教育担当講師	2018年8月～現在に至る
九州保育団体合同研究会	分科会運営委員	2018年8月～現在に至る
NPO ドングリ研究部会	研究・実践担当	2020年9月～現在に至る
全国保育士養成セミナー令和3年度実行委員会	企画委員（第10分科会担当）	2020年10月～2021年12月
九州保育団体合同研究会	4・5歳児保育、運営委員	2018年8月～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
・ 保育科学科長 2020年4月～現在 ・ 人事委員会 副委員長 2020年4月～現在 ・ 学校法人西南女学院評議員 2020年4月～現在 ・ 教員免許状更新講習「保育の質の向上と保育の専門性：保育における遊び環境について」講師 ・ 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園 幼稚園運営委員 2018年4月～現在 他、学生募集のための高校訪問の実施等